

第3回 戸田市都市再生協議会

第2回戸田市都市再生協議会における
意見等への対応方針

令和6年2月29日

戸田市

第2回都市再生協議会を踏まえた対応方針の整理（1/3）

- 第2回都市再生協議会において、将来ビジョン（案）における「コンセプト案・基本方針」の修正案、「エリア別将来像・取り組みの方向性」に対するご意見をいただいた。
- ご意見を踏まえ、将来ビジョン（案）の対応方針について整理した。

将来ビジョン（案）に関するご意見及び対応方針

項目	委員からのご意見	対応方針
③現況・課題	p.8 ③現況・課題 官民連携による街並み誘導 1ポツ目に「今後の高齢化の進行に備え、公共交通の充実を図るため、駅前空間の整備に北戸田駅前、中心拠点であり、まちの顔であることから、駅前に相応しい景観形成が必要である。」との記載があるが、本表現では違和感があり、「今後の高齢化の進行に備え、公共交通の充実を図るため、」は削除してはいかがか。	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢化の進行に備える」ことだけが目的ではない認識であり、新しい北戸田の玄関口にふさわしい、地域への活力を高めることや、幅広い世代でにぎわいづくりを行うことで、官民連携を促す方針で文章の構成を修正する。
②対象エリア	P.6 ②対象エリアについて、まちなかウォークブル区域（緑で示す区域）とし、高架下も含めて活用を検討していくと理解している。高架下はJR東日本の所有地であるが、今後は本区域設定をもって、活用を働きかけていくのか。	<ul style="list-style-type: none"> 高架下はJR東日本の所有地であり、現状も既に土地利用が行われている。今後将来ビジョンにて掲げた方針をもってJR東日本に働きかけていくこととする。
⑤エリア別の方向性・取組イメージ 移動・滞在空間	p.21 移動・滞在空間について、基盤整備の内容について整理がついていないと思料する。また、WSの内容からは樹木整備を望む意見もあったが、基盤整備として具体的に何をするかは本資料からは不明確である。基盤整備として何をするか、基盤整備が十分な箇所はソフト施策をどうするかの検討が必要であり、各所の個性を活かすには、それらについて明確化することが望ましい。	<ul style="list-style-type: none"> どこから重点的に基盤整備を進めるか現時点では定まっていない。動線の快適性の観点では緑化など市民が取り組みやすい制度・枠組みを作っていくことは早期に取り組みと考える。また、WSを通じてアイデア・ご意見を収集しており、それを基に検討を進めていく方針である。その中で、重点的に取り組みたい基盤整備が何か、更に検討していく方針である。

第2回都市再生協議会を踏まえた対応方針の整理（2/3）

- 第2回都市再生協議会において、将来ビジョン（案）における「コンセプト案・基本方針」の修正案、「エリア別将来像・取り組みの方向性」に対するご意見をいただいた。
- ご意見を踏まえ、将来ビジョン（案）の対応方針について整理した。

将来ビジョン（案）に関するご意見及び対応方針

項目	委員からのご意見	対応方針
④将来ビジョン （基本方針のエリアマップ）	<p>駅西口を出て南東方向、廃道予定の箇所も基本方針のエリアマップに個別のエリアとして確立することが望ましいと考える。移動・滞在空間には含まれると考えるが、土地区画整理事業にて風景が変わる場所なので、活用エリアとして示さなければ、移動・滞在空間に対する市民のイメージがぼやけてしまうと懸念する。本エリアの中で東側に向かって歩く部分は特に重要と考えており、エリア西側はイオンや学校、勤務地に向かう方が多い中、周辺地域に住まわれている方は東側へ向かうことが多い。東側へ向かう方がこの道を使うよう誘導すべきであると考えてどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当該箇所は高架下・環境空間の一部に含めているが、土地区画整理事業の計画も踏まえて今後具体化していく。 他方で、全部を一度に検討、取り組むことは困難であるため、優先度についても併せて考えていければと考える。 また、駅西口から南東側へ向かう道路は、車両は通れなくなるが、道路として残る。廃道ではない。
	<p>重点方針・基盤方針のうち、着色かつ太字のものが該当するものとの理解で相違ないか。市民が見た際にわかるように表記を工夫してもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 該当する項目のみ記載する。
⑤エリア別の方向性・取組イメージ 公園	<p>p.19「自由に活用できるルール作り」の文言が気になる、公園利活用を図る社会実験の中では、地域の理解を得ながらマナー醸成を深めていきたいとの意図で社会実験を行っている。通常の公園の利用では、禁止事項もあり、ボール遊び時には周辺利用者や周辺住民に配慮する等の決まりとなっている。（仮称）2号公園ではルールで縛っていくのか、マナーの醸成を図るのかは先ほどの社会実験に取り組む中でどちらが望ましいのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当該箇所の記載は、WSで出た意見であるため、現状の文言のままとする。

第2回都市再生協議会を踏まえた対応方針の整理（3/3）

- 第2回都市再生協議会において、将来ビジョン（案）における「コンセプト案・基本方針」の修正案、「エリア別将来像・取り組みの方向性」に対するご意見をいただいた。
- ご意見を踏まえ、将来ビジョン（案）の対応方針について整理した。

将来ビジョン（案）に関するご意見及び対応方針

項目	委員からのご意見	対応方針
②対象エリア	<p>北戸田周辺について特徴があると思料する。1点目は、北戸田駅東口に高層ビル（30階建て）があり、イオンモールや北部球場等があり、全体的な構想を考える中で、北戸田に人を流れることを考えると、行政センター等の市民サービスの中で行政サービスを市民の方が利用できるものも考えてはどうか。2点目は、北戸田駅西口において駅前整備が進むが、令和7年度に整備完了を目標としているとのことなので、その点何かできることはないかと考えている。3点目は、より広く考えると彩湖・道満グリーンパークに年間約100万人が来場するが、全体の中で戸田市北西部のまちづくりを考えてもいいのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 北戸田駅は市域の北の拠点として戸田市都市マスタープランでも位置付けている。広域な視点でまちづくりを検討することは重要であり、本事業の中というより、関連事業との結びつきの中で模索していくこととする。